

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



【幽霊屋敷レストラン】

作：たかい よしかず（童心社）

この本は、様々なこわい話を書いてあります。ぼくが読んで面白かった話は「幽霊城のバーベキュー」という話で、主人公が幽霊城にとまりにいきます。そこで主人公はその幽霊の手足や顔がおちてきて「言うことを聞け」と言われます。主人公はどうなるのかという話です。面白いので読んでみて下さい。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



井上小学校 6年松組 小田切春菜さんのコメント

【あやかし修学旅行】

作：はやみね かおる（講談社）

「修学旅行を中止しろ。」夢水探偵のとなりの家の亜衣たちの通っている中学校になその言葉が届きます。みんなが楽しみな修学旅行のはずが…。ミステリーたくさんのお話、ぜひ読んでみて下さい。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



井上小学校 6年松組 小林 遼悠さんのコメント

【終わらない怪談 赤い本】

作：緑川聖司（ポプラ社）

引っ越ししてきた家の屋根裏部屋に「赤い本」という題名の本を見つける。本を読むごとに本に書いてあることとにたようなことが次々とおこる。けど、それとどうじにいろいろな人と友達になっていく。最初はこわいけど、どんどんおもしろくなっていく話です。ぜひ読んでみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



井上小学校 6年松組 中村 柑菜さんのコメント

【ラストで君は「まさか! 」と言う】

作：桐谷直（PHP 研究所）

この本は、30 編のお話が集まった本で、物語の最後には必ず考えてもいなかったできごとがおこります。私の読んだ中でのおすすめは、「目には目を」というお話です。ある老婆に営業に行っていた男が老婆の飼っている鳥かごにいた「ピピ」という鳥をにがしてしまっただ後に、自分の車のフロントガラスに鳥が…

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



井上小学校 6年松組 塚田 大輝さんのコメント

【獣の奏者(3)】

作：上橋 菜穂子（講談社青い鳥文庫）

リラン（王獣という獣）と心を通わせたエリン（主人公）を待ち受けていたのはかこくなものでした。王獣を操るすべを見つけてしまったエリンはいろいろなことに巻きこまれてしまいます。すごく感動する作品なのでぜひ読んでみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



井上小学校 6年松組 高橋 美優さんのコメント

【ふしぎ駄菓子屋銭天堂】

作：廣嶋 玲子（偕成社）

銭天堂は、少し変わった駄菓子屋で、そこにたどりつけるのは、幸運なお客さんだけで、そこで買ったお菓子の説明書を読まないとなんでもない事が起きる所がおもしろいです。1～9巻まであってとてもおもしろい本です。ぜひ読んでみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 6年東組 岡山 杏子さんのコメント

【ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 3】

作：廣嶋 玲子（偕成社）

幸運のお客様のはずが不幸になってしまったりするところがとてもおもしろいです。自分にとっても必要なおかしを買ったはずが、いらぬものに変わったり……いろいろなハプニングが起こるところが楽しいです。とてもおもしろかったです。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



【おばけのアッチとドラちゃん】

作：角野栄子（ポプラ社）

アッチがお店をはんじょうさせるために、旅に出て、しゅ行していたところが、いいと思いました。のらねこのボンは料理がとても上手だったので、びっくりしました。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



【ふしぎ駄菓子屋 銭天堂】

作：廣嶋 玲子（偕成社）

いろいろな駄菓子があって、その食べた後の効果がおもしろい。
それに、1度銭天堂があった場所に行っても、銭天堂がその場所
にないのが不思議だなと思った。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 6年東組 宮崎里依咲さんのコメント

【ネトゲ中毒 (NHK オトナヘノベル)】

作：鎌倉 ましろ (金の星社)

ネトゲ中毒になった人が、依存をなおし、かつての自分の逃げ場をあたえてくれた、ゲームやネトゲ廃人たちに恩返しをすると言うお話で、すごくおもしろかったです。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 6年東組 武田 倅来 さんのコメント

【ポンプのひみつ】

作：おぎのひとし（YHB 編集企画）

昔のポンプは、いまのポンプとどのようなつくりなのかわかった。ポンプは、なんしゆるいもあることがわかった。いろいろな形だった。消防署のポンプはすべて赤でした。くべつされていてすごいと思いました。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 6年西組 山崎そよかさんのコメント

【いなくなれ、群青】

作：河野 裕（新潮社）

この本は、自分の成長に不必要な人格が自分に切り捨てられ集まった島「階段島」での日常が書かれている本です。平和な日常が、ある少女の登場で突然こわれて!? とてもおもしろいので、ぜひ読んでみて下さい！

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 6年西組 篠原菜々美さんのコメント

【なんでも魔女商会 (23)

あたらしいわたしの探し方]

作：あんびる やすこ（岩崎書店）

このお話は、森の中にあるおさいほう店の店主シルクとシルクと仲良しのナナという女の子が、お客様のお洋服をリフォームするというお話です。するとそこにマギーというお客様がマーメイドドレスをお直ししてほしいと言いました。シルクはどんなお洋服にしたのか？とてもワクワクするお話なので見てみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 6年西組 清水 真奈さんのコメント

【笑い猫の5分間怪談(9)】

作：那須田 淳 (KADOKAWA)

この本は5分間でさっと読める怪談の本です。とちゅうに物語が入っているので、とってもおもしろくなっています。どの巻からでも読めるので、ぜひ読んでみて下さい！

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 6年東組 田中 小弓さんのコメント

【オ・ヤサシ巨人 BFG】

作：ロアルド・ダール（評論社）

主人公のソフィーは、夜、巨人を見てしまった。そしてさらわれてしまい、巨人国に連れていかれた。でも、その巨人は人食い巨人ではなくて、オ・ヤサシ巨人だった。そして、ソフィーとその巨人はいろいろなことを経験し、学んでいく楽しい話です。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



森上小学校 6年智組 中島 愛梨さんのコメント

【図書館にいたユニコーン】

作：マイケル モーパグ（徳間書店）

ある日、森に行けばかり行っていた少年が、お母さんにさそわれて図書館に行くと、ユニコーンと新しく図書館に来た司書がいました。そして初めは図書館があまり好きではなかった少年も本が好きになりました。やがて、少年が住んでいる村を戦争がおそい、好きだった図書館も火に囲まれてしまいました。その中で、少年は本とユニコーンを救い出せるのか。という物語です。ぜひ、みなさん読んでください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



森上小学校 6年智組 中塩 里歩さんのコメント

【都会のトム&ソーヤ(7)】

作：はやみね かおる（講談社）

内人と創也は「南北磁石」というチームをつくりゲーム制作を開始。そしてゲームの情報を知るため様々なところにピエロが出現。その正体は意外な2人。今回も内人と創也が協力し、そのピエロの正体を暴いていく。とてもワクワクします。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



森上小学校 6年智組 岩下 里沙さんのコメント

【荻野吟子】

作：加藤 純子（あかね書房）

荻野吟子は日本で初の女医になった人です。過去の自分の経験がきっかけに医者になると決意しました。昔は女が医者になる事が禁じられていました。けど、それを押し切って何を言われてもあきらめませんでした。努力をして、やっと、初の女性医師が誕生したのです。女医になるための努力がつづられているお話です。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



【いつか、眠りにつく日】

作：いぬじゅん（スターツ出版）

主人公の高2の女の子・蛍が、修学旅行の途中、亡くなってしまふ。そして、この世に残した未練を3つ解消しなきゃいけないんだけど、そこには秘密があった。最後は、予想外の結末です！とても涙があふれてきます。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



森上小学校 6年智組 馬場 紗生さんのコメント

【銀の本】

作：緑川聖司（ポプラ社）

この本のシリーズは、色を使った本です。この銀の本は、海外と銀の本を使った本です。銀の本以外の他の本は、国内とその本を使った本です。だから、銀の本は、他の本とはちがって、すごくおもしろかったです。主人公のぼくが、フランスへ行って、おじさんのお城を引きつぐ人を、宝探して決めるお話でした。宝、銀の本を見つけたのは…誰でしょう。ぜひ読んでみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



豊丘小学校6年 武内 勇和さんのコメント

【LIFE<ライフ> 人間が知らない生き方】

作：麻生 羽呂（文響社）

この本は、生き物の人間の常識をことごとく覆す本で、例えば、イルカのジャンプは求愛のためと、遊ぶためと、古い皮ふを落とすこととというのがある。豆知識も学べるのでオススメです。しかも動物から学べる人間の生き方も書いてあるので、ぜひ読んで下さい。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



豊丘小学校6年 青木 大和さんのコメント

【君たちはどう生きるか】

作：吉野源三郎（マガジンハウス）

この本は、じゅん一君の自分の生き方をおじさんと一しょに改める本です。ぼくは、この本を読んで、感動しました。理由は、じゅん一君は、同級生が上級生にいじめられていたけど、助けられなかったけど、おじさんが「間違っている（生き方）」と言って、その言葉を頭に残して同級生と会ったら、謝ったら仲直り出来たからです。だからぼくは、助けられなかったとしても、かたいきずなで結ばれているかぎり仲良くなれるんだと思いました。皆さんもぜひこの本を読んでみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



豊丘小学校6年 小穴 大樹さんのコメント

【君たちはどう生きるか】

作：吉野源三郎（マガジンハウス）

この本は、コペル君という子が友だちとの大事な約束をやぶってしまい、おちこんでいた。しかし、おじさんがきて一冊のノートをくれた。そしてコペル君は、友だちにあやまりにいく話です。ぼくは、コペル君のような生き方をしたいと思いました。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



豊丘小学校6年 佐藤 碧月さんのコメント

【まんが日本の歴史 なぜなに事典】

作：ながい のりあき（小学館）

この本は、戦国武しょうや日本に伝えられた歴史があって、なんでそうなったかしくわしくかいてあります。内容がとてもおもしろいです。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 6年敬組 村石 かのさんのコメント

【探偵チームKZ 事件ノート ブラック教室は知っている】

作：藤本 ひとみ（講談社）

「探偵チームKZ 事件シリーズ」は、仲間で協力して事件をかい決するお話です。『ブラック教室は知っている』は、主人公が呪いのターゲットになってしまいます。が、それをKZ全員で助けようとする。複雑に絡んだ事件をといていくKZはカッコ良かったです。主人公のためにKZ全員が協力しているのを見て感動しました。推理小説が好きな人に、おすすめです。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 6年敬組 小川 結凼さんのコメント

【ラ・プッツン・エル 6階の引きこもり姫】

作：名木田 恵子（講談社）

少しのことでプッツンとおこってしまう少女が魔王（父）に閉じこめられてしまいます。窓から見えた少年としだいに仲良くなり、心を開いていく物語でした。とてもおもしろかったです。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 6年敬組 栗原 優樹さんのコメント

【ゴーストファイル 3 よみがえりの伝説】

作：工藤 純子（岩崎書店）

クラスメイトにいじめられ、学校にこなくなった綾を心配する勇斗たちは、綾をたずねると、そこには死んだはずの黒猫が。いったい綾の身になにがおこったのか。ゴーストたちにたちむかう勇斗たちの話で、とてもおもしろいのでぜひよんでください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 6年敬組 小林 伶奈さんのコメント

【ぼくのプールサイド】

作：今井 恭子（学研教育出版）

泳げない建は、昔自分のせいでお父さんをけがさせてしまいました。それで、建のことを、姉はすごくきらいます。けれど、最後には家族が一つになり、助けあっていて、家族の大切さがわかりました。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



【ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 2】

作：廣嶋 玲子（偕成社）

この本は、不思議な、駄菓子を売っている、銭天堂のお話で、色々な菓子の話があり、どの話も、年号のきざまれた円ではなくては買うことができません。この巻の中で一番好きな話は、「しっぺがえしめんこ」という話です。内容は、読んでの楽しみです。